

「見られる側」になる！入社3年目研修

概要	新人から先輩社員への意識転換を図り、これまでの社会人経験を踏まえて企業人としての基本を見直す。次のステージに向けた心構え、ありたい姿、目指すゴールを明確にし、能動的に仕事に取り組める状態を目指す。
手法	講義・グループワーク・ディスカッション
所要時間	6時間
担当講師	

【プログラム】

プログラム	項目	手法
【導入】	研修目的、ゴール、アイスブレイク	
「独り立ち」への意識転換	・実務経験と強みの棚卸し（チーム発表） ・指示待ちから仕事を動かす側へ ・慣れがミスを招くトラブル対応 ・AI時代のコンプライアンスを考える AI著作権～写真流出等の法的リスクまで	講義 ディスカッション
自身の存在意義を考える	・2秒で決まる第一印象のセルフ管理 ・見た目と声が与える影響力 ・ミスや指摘をチャンスに変える叱られ方 ・クレーム発生のメカニズムと対応のコツ	講義 ワーク
ワンランク上のコミュニケーションスキル	・生産性上がるネガ・ポジ比率 ・傾聴姿勢と心理的安全性 ・ワンランク上の伝わる報連相（実践編） ・相手視点の伝達技術 ・アサーティブ対応（チーム実習） コミュニケーション実践ゲーム「テーマパーク」 実務に活かす振り返りと具体策	講義 ワーク ディスカッション
自身の存在感アップ	・信頼される先輩社員とは？（ディスカッション） ・相談される関係構築力 ・職場でのあなたの存在感とは？ ・働く意義と役割認識のWhyを考える	講義 ワーク ディスカッション
【まとめ】 目標設定	・になりたい自分と現状のギャップ認識を明確にする ・理想と現実との差分を埋めるアクションの洗い出し ・行動目標の設定（チーム＆全体発表）	ワーク ディスカッション

「見られる側」になる！入社3年目研修

【概要】

1	「独り立ち」への意識転換 ■ これまでを振り返っての様々な思いをチームと共有。 それぞれの経験を話し合う事で、不安の払拭や視野の拡大を図る。 ■ 慣れが招くトラブル事例をディスカッションし、事前対策を練る。 ■ AI時代のコンプライアンスの常識をアップデートする
2	自身の存在意義を考える ■ お客様との対応事例を共有し気づきを得る ■ 自身の存在意義、会社から期待される点を考察 ■ クレーム発生と期待の関連性を理解し、ネガティブな捉え方から、前向きな捉え方へのシフトと、向き合い方の基本を学ぶ
3	コミュニケーションスキルを磨く ■ 職場内コミュニケーションの重要性を認識、主なコミュニケーションエラーの理由を理解 ■ 聴き方の実習を通して、自らの姿勢や対応によって相手の記憶に残る・残らないの差を実感し、職場だけでなく顧客対応にも効果的な、ビジネスパーソンとしての聴き方を習得する ■ 相手が受け入れやすい伝え方（アサーティブ）を理解し実践できるようにする ■ ゲーム形式で、自身のコミュニケーション傾向を振り返り、実務に活かす
4	自身の存在感アップ ■ 先輩社員として、職場で影響力を発揮できるビジネスパーソン像を考察。 ■ どの様な会社と認識されたいか、どの様な職場にしていきたいか、そして、どの様な存在と言われたいか？について、主体的に言葉にした上で、意見交換し、次のステージへのモチベーションを高める
5	目標設定 ■ 自らの明確になりたい姿をイメージし、そこにたどり着くギャップを明確にする ■ になりたい自分になるための目標設定と、明確な行動ステップを洗い出す ■ 明日からすぐ、ステップを踏み出せるよう忘れない仕組みを作る